

2022 年度 募集

大学・ゼミ・サークル対象

神奈川の多文化共生 学んでみませんか？

かながわ国際交流財団の職員派遣、ゼミ等の受け入れのご案内

神奈川県には現在、172の国と地域出身の約22万人の外国人の方々が住んでいます。また、神奈川県は1970年代にいわゆる「民際外交」を全国で初めて取り組み始めた県としても知られ、多様な文化が共存する国際色豊かな地域として、多文化共生に向けた取り組みが活発です。

かながわ国際交流財団はこれから多文化共生を担う大学生をはじめとする青少年の育成についても取り組んでいます。

当財団では、大学生のみなさんが、神奈川県の多文化共生について学ぶプログラム（①大学への財団職員の派遣、②大学のゼミやサークルなどの受け入れ）を実施します。2022年度の対象大学等を募集します。

募集要項

■対象

神奈川県内にキャンパスがある大学、ゼミやサークルを優先
(募集締切後も募集枠がある場合、神奈川県内以外の大学からも応募可能)

■募集締切

2022年9月30日(金)

(募集締切後も募集枠がある場合、受付可能な場合がありますので、お問合せ下さい)

■募集プログラム 次のうち、どちらかを選択

- ① 大学への財団職員の講師派遣、または、オンラインによる講義(オンデマンドも可)
- ② 当財団事務所(かながわ県民センター)等へのゼミやサークルの受け入れ
※②上限10名程度

■内容例 ※まずご希望をご相談ください。過去の実績もご参考ください。

- ・外国人住民が直面する課題と取組
- ・多文化共生の地域社会づくりにおける国際交流団体の役割や多様な機関との連携 等

■実施時期

依頼内容に合わせて年間を通じて実施

■募集件数

年間8件程度

■費用

原則、1時間あたり1万円(税・交通費込)

(ただし、ご予算に応じて柔軟に対応致しますので、お気軽にご相談ください)

■申込方法

必要事項をご記入の上、下記WEBフォームよりお申し込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/daigaku_program/



■お問合せ

(公財) かながわ国際交流財団 学術・文化交流グループ

TEL : 045-602-5045 / E-mail : haken@kifjp.org

過去の実績

■大学へのプログラム(例)

- ・青山学院大学国際政治経済学部国際交流実務論「神奈川県の国際交流かながわ国際交流財団の事例から」
- ・中央大学文学部人文社会学科教育学専攻「教育実地研究」インタビュー
- ・横浜商科大学商学部・ゼミ「異文化理解講義」
- ・湘南鎌倉医療大学看護学部「異文化理解講義(外国人住民の母子保健)」
- ・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・ゼミ「現代日本理解演習」
- ・武蔵野美術大学・にっぽん多文化共生発信プロジェクト「上級日本語」(留学生対象授業)
- ・神戸女子大学健康福祉学部 シンポジウム「日本で活躍する外国にルーツのある人から学ぶ」
- ・横浜国立大学地域連携推進機構Next Urban Lab「コロナ禍のもとでの多文化共生」

■その他(例)

- ・学生団体の国際交流コミュニティへの運営および広報について相談対応